Ⅰ－３　＜平成 31 年度　飯綱中学校　グランドデザイン＞

学校長の願い

この山とともに生きて

○「居がい」「生きがい」のある学校
○「楽しい学校　よい一日」
○夢・勇気をもち挑戦する生徒
○コミュニケーション能力の向上

飯綱町教育運営方針

(1) 確かな学力，豊かな心，健やかな体　(3) ふるさとを愛する心
(2) グローバル化社会への対応　(4) 学校・家庭・地域の連携と協働

学校教育目標

自主・友愛・剛健

保護者・地域の願い

誇れる「おらほの学校」

○明るく伸び伸びと学校生活を送る生徒
○楽しく学び，汗を流して活動する生徒
○地域の一員として未来を担う生徒

① Plan（計画）
３月

④ Action（改善）
２学期・３学期

目指す生徒の姿

＜自主＞ 主体的，創造的に生活し，学ぶ楽しさを味わうことができる生徒
＜友愛＞ みんなの幸福を願い，豊かな情操をもつ生徒
＜剛健＞ 明るくたくましい心身を備え，気力体力が充実した生徒

生徒の実態

○素直な生徒が多く，より良くなりたいという向上心と向学心をもちながら学校生活を送っている。
○学力調査等から見る習熟の度合いは高い傾向にある。仲間の前で自分の考えや意見を発表することを苦手と感じている生徒は多いが，グループ学習で近くの友だちと自由に話し合いながら考えを深め合えるよさがある。
○自主的，自治的な生徒会活動に達成感や満足感を感じている生徒が多い。
○狭い関係性の中で「学校は楽しい」と感覚的に安堵して，進んで人間関係を広げていこうとすることができない一面がある。
○ネットリテラシーを自分事として理解できずに，利用時間を自制できなかったり，相手意識を欠いてしまったりする姿が時として見られる。

② Do（実践）
１学期・２学期

③ Check（評価・活動見直し）
１学期末・２学期末

【学校づくりの柱と重点活動】

☆ 学　力 ☆

知識・技能の確実な定着と，思考力・判断力・表現力を一層伸ばします

① 全国学調・CRT 分析をもとにした授業改善
② 思考力・判断力・表現力を育む授業改善
・関わり合う活動や，思考・判断した結果を表現する活動の工夫
・「人に分かるように自分の言葉で話す」（生徒の授業姿勢）
・一人一公開による授業改善研修
③ 自主的，計画的な学習の習慣化
・家庭学習計画表による指導
・「e-plan」（教育相談の日）の活用
④ 小中（高）連携学習指導研究会の開催
・生徒理解と授業改善研究（６月，11 月）

＊生徒アンケート項目「授業などで，自分の考えを発表する前に，内容や順序を考えることができた」を８０％以上。

☆コミュニケーション能力☆

互いを尊重し合い，豊かな人間関係・仲間関係を築く生徒を育てます

① 学級集団理解，生徒理解
・QU 検査や SUTEKI アンケートの活用
・エンカウンターを用いた人間関係づくり
・生徒相談による生徒理解
② 学級，学年の枠を超えた生徒会活動
・あいさつ運動の充実
・縦割り清掃（個になれる強さ，ﾘｰﾀﾞｰ育成）
・歌声づくり
③ 道徳教育の充実（道徳科授業の工夫）
④ 人権教育の充実
⑤ 情報講演会等ＳＮＳ利用に関する啓発活動
⑥ 特別支援教育の充実とｲﾝｸﾙｰｼﾞﾌﾞ教育の推進
・教職員の共通理解と個々の生徒に応じた支援
・授業等のユニバーサルデザイン化

＊生徒アンケート項目「安心して学校へ行くことができる」，「学級，学年の仲間の気持ちを考え，居心地の良い集団にしようと心がけている」を 80％以上。

☆ふるさとを愛する心☆

地域の「ひと・もの・こと」に関心を持ち，ふるさとを愛する心を育みます

① 地域に学び，視野を広げ，地域に発信するとともに，自分の生き方を見つめ態度を育てる総合的な学習の時間とキャリア教育
・１年：地域学習 ～りんごの町 飯綱～
・２年：職場体験学習～未来へのﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ～（キャリア教育）
・３年：私の飯綱町～15 歳の提言～（主権者教育）
② 地域に貢献する体験活動
・中学生議会　・福祉施設との交流
・いきいきサロン交流学習

＊生徒アンケート項目「地域学習，職場体験学習，飯綱町への提言の学習発表会などは地域を見直す学習になった」を 90％以上。

教職員の姿勢

○生徒に寄り添い，一人一人に温かな眼差しを持つ　○生徒の追究を意味づける　○生徒の成長と変容をゆったりと待つ

生徒，保護者，地域への生徒の活動の良さの情報の発信(ＨＰ・学校便り・学年便り・学年，学級 PTA など)

地域の支え

○PTA 活動　○読み聞かせ　○総合的な学習の時間　○部活動支援　○飯綱町ｺﾐｭﾆﾃｨｽｸｰﾙの推進（おらほの学校応援団）